



障がい者の社会参加を広げる

おおぞら通信

123号 2019年5月17日 発行

「おおぞら」は、グループホームの運営・就労支援を軸に、主に知的障がい・発達障がいのある方々の地域生活を支援する活動を行っています。

“障がいのある方が、地域の人々とともにふつうに暮らすこと”、それが私たちの願いです。

地域で生きる 地域が生きる



カフェと自然やさしいハビリーマルシェでは、日々2、3人の利用者さんが作業をしている。こつこつと作業を続けられる人には洗い物を、笑顔で接客できる人にはホールでのお冷出しや下膳を、手先の器用な人には仕込みや調理補助を。それぞれが出来ることを活かして作業をしてもらっている。オープンして2カ月が過ぎ、スムーズに重けるようになってきた。

きりの木農園では5月になり少しずつ野菜が採れるようになり、カフェの料理にも使えるようになってきた。これも、出来ることを活かして畑作業をしている利用者さんのおかげ。着火材づくりも然りの計量する人、成形する人、包装する人。出来ることを活かしている。

出来ることを集めれば、ほら、こんなにいろいろなことができるのですよ。

きりの木を立ち上げた時の想い。「出来ることを活かして作業を組み立てる」が、着実に形になってきたなあと、餡色玉ねぎを作りながら思う今日この頃・・・しかも3キロ・・・これも、利用者さんやってくれないかしら・・・（お）



ちいきでいきる
地域で生きる

研修会のご報告

おおぞら主催

もっと障害児者の暮らしをよくする研修会

第1回『よりよい足とそのための靴』

2月23日に、おおぞらの理事に就任いただいた、茨城県立医療大学助教の金井欣秀先生をお迎えし、“ハピリイマルシェ”2階で、足と靴の研修会を行いました。

告知する時間が短いながら、障害児の親御さんを中心に25名のご家族や当事者の方々がご参加くださいました。また一緒に来てくれた10名のお子さんたちは、研修会の間、カフェでのクッキーづくりや演奏を楽しみました。

研修会では、普段あまり意識せず使っている私たちの足と歩行の仕組みや、扁平足や外反母趾などの疾病について、具体的に解説をいただきました。

特にダウン症の方は先天的に関節が柔らかいため、足部の変形が起きやすくなってしまうそうです。そのため早期に補装具等で足をサポートすることで、足部の変形に伴って生じる膝関節の変形も防げるとのお話がありました。

予防が最も大切な“足”ですが、「もし変形が進んでしまったら、きちんと専門的に診れる、ドクターの診察や理学療法士の評価を受けてください」とのこと。



穏やかな口調ながらも熱く語る金井先生。具体的でとてもわかりやすいお話しでした

「服はボロでも靴はいいものを！」

最後に、最も大切な「靴の選び方」についてのアドバイスをいただきました。

「靴は後々に禍根を残します。しっかりしたメーカーの靴を履いてください。特に子どものうちはいい靴を履いて欲しい」と力説。保険が適用される場合もあるそうですので、ご関心ある方はぜひ一度医療機関にお尋ねください。

金井先生、ありがとうございました！



研修会の後は、カフェでお茶を飲みながら歓談し、交流を深めました

荒天時のグループホームは…



おおぞらのグループホームは、日中活動とは分離して運営しているため、入居者の皆さんは、昼間は市内外の福祉事業所に通所したり、仕事場に行ったりと、それぞれが選択した場所で過ごしています。

「地域の中での普通の暮らし」の実現を目指すグループホームですから、「管理の都合を優先するのではなく、入居者の選択を大切にしていこう」、この方針は今後も変わらずに守り続けていきます。が、年に数回だけ、悪魔のささやきが聞こえてくる日があります。それは、“荒天の日”です。

台風の直撃や、大雪の予報が出ると、いつも緊張が走ります。小規模なホームが市内に点在しているため、まずは各ホームの担当者が予定通り出勤できるかをあらかじめ確認します。スタッドレスタイヤを履いているか、車や自転車でも自力で出勤できるかなどなど、連絡を取っていきます。

それから入居者さん全員の日中の行き先と、通所や出勤時間に変更がないかを確認しながら、ひとりずつの予定を大きなホワイトボードに書き込んでいきます。そこから、ホームで待機する入居者さんがいる場合の勤務期間の調整を依頼したり、JRやかっぱ号が運休にならないかを確認したり、運休や間引き運転に備えて電車通勤の人を駅や職場まで送迎する配車割りをしたり…。天気予報とのにらめっこが続きます。

迎えた荒天時の当日、全員が無事にそれぞれの場所へ到着したのを確認してほっと一息。どっと疲れが押し寄せます。

「みんなが同じ場所に通所していたら、楽だろうなあ…」と、年に数回だけ、思わずつぶやいてしまうのです。

これからもずっと入居者の皆さんの安全を守り、みんなで楽しく暮らしていけますように！

ノマド（遊牧民）農業しています

こぼれ話

縁あって、きりの木農園は現在、城中町、柏田町、島田町と牛久市内に3カ所7反の畑をお借りしています。もちろん、まとまった場所で作業をするのが効率的ではありますが、それもこれもご縁、ということで、馬車ならぬ農機具を従え、市内を渡り歩きながらノマド的農業をしています。

そしてこの度、奥野地区でお借りしていた3反の農地に、特別養護老人ホームが建設されることとなり、大切に育ててきた畑を、あえなく撤収することとなりました。「借地なので仕方ないか」と頭ではわかっている、自然栽培の要は土づくり。竹を漑き込みながら育ててきた畑が(T_T)・・・と、後ろ髪引かれつつ、お世話になった土地に感謝して、この地を去るのがノマドの宿命。

「なるようになるさあ!」。気持ちを切り替え、新たなオアシス(農地)を求め、きりの木農園のノマド農業は続きます。

たくさんの野菜を売って、いつか自分たちの農地に定住できる日を夢見つつ・・・ (な)



活動報告

カフェと自然やさい ハピリマルシェ

きりの木の利用者さん、活躍中！！

お店の開店準備から、お席のご案内、お料理を運んだり、食器を下げたり洗ったり、時には号泣しながら3kgの玉ねぎをカットしたり…。カフェスタッフとして頑張っています！



洗浄機を使った食器洗い
焦らず慌てず丁寧に



指示された仕事を黙々とこなしていきます



オーダーをしっかりとチェック！



おまけ：野菜と丸鶏をコトコト
煮込んだスープストック



畑チームが育てたお野菜がカフェに並びます。

グループホームの

こうくう 口腔ケア

健康を維持するために、日常的な口腔ケアはとても大切。グループホームでは、加齢に伴い歯が抜けたり、入れ歯を使用する利用者さんもちらほらと。



「ひまわり」と「オリーブ」では、数年前から兼久歯科さんに訪問していただき、希望する利用者さんの口腔ケアを行っています。最初は「イヤー」と逃げていた利用者さんも、今では顔見知りになった衛生士さんたちの声かけで、しっかり口を開けて口腔ケアを受けることができるようになりました！

“TAKEBI” がようやく 売れ始めました！



6年ほど前から商品開発を始め、試行錯誤の末に、ようやくできあがった環境に優しい着火材“TAKEBI” あちこちにサンプルを送り、茨城だけでなく、福島、栃木のキャンプ場でも取り扱いをしてもらえるようになりました。そして昨年、栃木のキャンプ場においてもらったTAKEBIが、なんと、卸業者さんの目に留まり、商談成立。今年はすでに約4千枚の注文を受け、着火材チームが着火材づくりに励んでいます！

4月には、エリート情報さんが取材に！ロウソク募集にご協力をいただきました。



エリート情報に掲載されました！
(2019年4月22日発行)



ハピリマルシェとおおぞらに、ロウソク回収箱を置いてあります。ご不要になったロウソクがあればぜひご協力をお願いします！

今日も頑張ってます☆

こすもを利用する 青野真二さん



稲敷市出身の40歳。ひとり暮らしになったのをきっかけに、グループホームに入居して、はや5年が経ちました。こすもでは「しんちゃん」の愛称で親しまれる頼れる兄貴です。

きりの木の最初の利用者さんでしたが、今年1月に「カスミミライ」に就職！毎日電車で神立まで通い、野菜のカットの仕事をしています。

「仕事がいっぱいあって忙しいよお」といっても、満面の笑みのしんちゃん。仕事をする一番の楽しみは、なんといっても“お給料”だそうです。

「夢はひとり暮らし！結婚は、まだかなあ・・・」
夢に向かって、今日もがんばってくださいね！

青野さんと一緒にきりの木メンバーとしてがんばってきた「鈴木英明さん」も、この春、博慈園さんに就職しました！



2019年度 通常総会のご案内

今年の通常総会は、6月15日（土）に開催となりました。総会では、2018年度の事業報告並びに2019年度の事業計画、おおぞらの今後の方向性についてお話をさせていただきます。

※正会員の皆さま宛には、6月上旬までに出席確認のはがきをお送りさせていただきます。

特定非営利活動法人おおぞら 2019年度通常総会

日時：2019年6月15日（土） 10:00～12:00まで

場所：ハピリマルシェ 2階（牛久市中央4-10-19）

電話：029-819-0710

※駐車スペースが少ないため、できるだけ乗り合わせにご協力をお願いいたします



おおぞら掲示板

就労支援事業所 きりの木

（多機能事業所：就労継続支援B型・就労移行支援）

自然やさいのカフェ・農作業

着火材づくりの仕事をしてくれる 利用者さんを募集しています！

嬉しいことに仕事がどんどん増えてきています。そこで、仲間として一緒にお仕事をしてくれる利用者さんを募集しています。きりの木は、少人数の事業所です。ひとりひとりしっかりと向き合いながら、それぞれの“いいところ”を伸ばしていきます。

※見学・体験利用をご希望の方は、

029-875-8841 までご連絡下さい

スタッフ募集中！

事業の新たな展開に伴い、私たちの仲間となってくれるスタッフを募集しています。

◎サービス管理責任者（地域） ◎相談支援専門員
詳細は、ホームページに随時アップしていきます！

使用済みろうそくを 集めています！



葬儀社の皆さま、地域の皆さまをはじめ、たくさんの方々から着火材の原料となるろうそくを、ご寄贈いただきました。ありがとうございます。いただいたろうそくは、大切に使用させていただきます。

引き続き、ご家庭に眠っているろうそくがありましたら、ご寄贈をお願いいたします。

2019年度会員募集！

当会の活動にご賛同いただける方のご入会をお待ちしております
期間：2019年4月～2020年3月

◎正会員：3,000円 ◎賛助会員：3,000円

◎正団体会員：10,000円 ◎賛助団体会員：10,000円

ご希望の方はご一報ください。振込み用紙をお送りします

◎活動へのご寄附へもご協力をお願いいたします

引き続き、会員を継続いただける方は、お手数ですが同封の振込用紙にて、会費のお振込みをよろしくお願いいたします。

ご寄付をありがとうございました（順不同）

赤羽根さよ子様 雨宮釈子様 井口文子様

医療法人健全会 井上内科クリニック様

うしくあみ斎場 ご会葬者様

遠藤鏡子様 可知礼子様 観成院様

名児耶清吉様 萩原美保子様

ミヤシロ様 御代川忍様 柳井三郎様

そのほかの皆様

